

令和6年度第1回岩手県死因究明等推進協議会での主な発言等

参考資料1

項目	主な発言・提案の内容	対応状況等
1 死因究明等に係る人材の育成	岩手県は法歯学セミナーは高いレベルの研修がされているという印象を受け、教育体制は比較的充実しているが、対応いただく先生がなかなか増えないという課題がある。 お声がけにより対応いただける先生もいるので、取組みを前面に出していきたい。	令和6年度も法歯学セミナーを継続して開催いただくとともに、先生方へのお声がけも継続いただいている。
1 死因究明等に係る人材の育成	岩手医科大学の研修医に対して年1回開催している死亡診断書、死体検案書の書き方についての講義について、県立病院の研修医の先生も受講できる環境とできないか。	令和6年度の講義について、イーハトーブ臨床研修病院群において、聴講可能となるよう岩手医科大学研修センターに調整いただいた。 なお、令和7年度以降も同様に調整いただけるよう県保健福祉企画室から同センターに依頼を行っている。
4 死因究明のための死体の科学調査の活用	「岩手県の薬物検査環境の充実」という項目を、本県の死因究明等の推進に関する基本的な取組事項に加えることができないか。	「4 死因究明のための死体の科学調査の活用」の具体の取組等に同項目を追加した。